

第8回さがみロボット産業特区協議会 次第

日時：平成29年8月29日（火）15時45分～17時00分

会場：ロイヤルホール横浜 4階 エリゼ

1 開 会

2 議題

「さがみロボット産業特区」第1期の取組状況と第2期の計画について

3 その他

4 閉 会

<配付資料>

資料1 第8回さがみロボット産業特区協議会 第1期の取組状況 協議資料

資料2 第8回さがみロボット産業特区協議会 第2期の計画概要 協議資料

別紙1 重点プロジェクト一覧

別紙2 7月14日記者発表資料 平成29年度「公募型『ロボット実証実験支援事業』」
採択案件を決定しました！！

別紙3 7月28日記者発表資料 「ロボット実用化促進補助金」採択案件を決定しま
した！！

別添 公募型「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト平成28年度レポート

「さがみロボット産業特区」 第 1 期の取組状況について

H29.8.29

1 第 1 期での目標の達成状況・国の評価

- 数値目標の状況（H29.8.29時点）※目標値：H29年度末までの累計

生活支援ロボットの商品化件数

目標12件……すでに**14件**実現

実証実験等の実施件数

目標90件……すでに**147件**実施
(当初目標を1.5倍に上方修正)

ロボット関連企業の立地件数

目標35件……**14件**国の評価
(H27年度)アジア拠点化・国際物流分野：**1位**（4特区中）ライフイノベーション分野：**2位**（13特区中）

1-① 規制緩和の実現・財政支援の獲得

■ 規制緩和の実現状況（H29.8.29時点）

- ・ 実証：8件（電波法、旧薬事法、道路交通法）
- ・ 土地利用：5件（都市計画法、農地法）
- ・ 普及：1件（介護保険法）

■ 実現した規制緩和の主なもの（ロボット特区関連）

電波法

屋外実証実験時の電波（UWB帯）の利用制限の緩和

都市計画法

市街化調整区域に工場等が立地する場合の開発許可基準の緩和

介護保険法

介護保険適用の提案が従来の3年に1度から随時提案に変更

Kanagawa Prefectural Government

2

1-① 規制緩和の実現・財政支援の獲得

■ 国の財政支援の状況（H29.8.29時点）

- ・ 企業による国研究開発補助金の獲得支援実績

➡ **10億4,800万円（33件）**

■ 財政支援を活用し製品化に至ったロボットの例

パワーアシストハンド

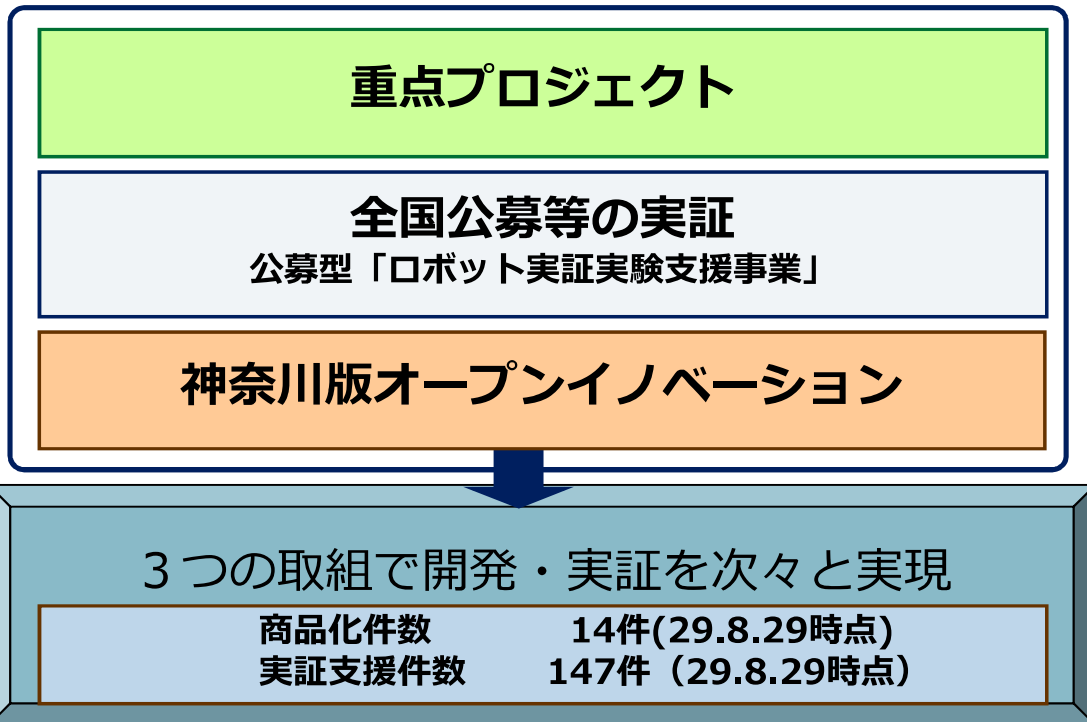


- ・ さがみロボット産業特区発の商品化第1号
- ・ 空気袋の膨張・収縮を繰り返すことにより、他動的・律動的に反復して、手指関節の屈伸運動を継続的に行うリハビリテーション補助機器
- ・ 累計販売台数：400台超

Kanagawa Prefectural Government

3

1-② 数多くの実証実験の実施



参考：「さがみ特区」で生み出されたロボット

<p>① パワーアシストハンド</p> <p>26年度</p> 	<p>② 人工筋肉による遠隔建機操縦ロボット</p> <p>27年度</p> 	<p>③ 心の健康計測システム</p> 	<p>④ 歩行支援ロボット</p> 	
<p>⑤ 服薬支援クラウドサービス</p> 	<p>⑥ 非接触・無拘束ベッド見守りシステム</p> 	<p>⑦ 介護予防効果を追求したPALRO</p> 	<p>⑧ レーダーセンサモジュール</p> <p>28年度</p> 	<p>⑨ パワーアシストレッグ</p> 
<p>⑩ 火山活動対応ドローン</p> 	<p>⑪ 火山活動対応地すべりセンサー</p> 	<p>⑫ ガイダンスロボット</p> 	<p>⑬ 人の立ち入りが困難な災害現場での情報収集ロボット</p> <p>29年度</p> 	<p>⑭ 災害救助対応ドローン</p> 

1-② 数多くの実証実験の実施

全国に先駆けて実施した実証実験

■国内初、高速道での自動運転（H25.11.25）



■遠隔操作による超音波診断（H26.3.4）



■自動運転を活用したサービス（タクシー）
（H28.2.29～3.11）



■火山対応ロボットを大涌谷に投入
（28.2.10～2.29）



Kanagawa Prefectural Government

6

1-③ 普及に関する様々な取組の実施

ロボット体験施設（H26～）



○累計来場者数
3,416組
(H26～28)

実際の暮らしに近い環境で
ロボットを体験できる住宅
展示場内のモデルハウス

ロボットモニター制度（H27～）



○累計利用数
143件
(H27～28)

ロボットの購入等を検討
している方が一定期間
モニター利用できる制度

ロボット体験キャラバン（H27～）



○累計利用施設数
165施設
(2,534名)
(H27～28)

ロボットを介護施設等に
持ち込み、実際に体験し
てもらうための取組

ロボット導入支援補助金制度（H28～）



○補助件数
48件
(H28)

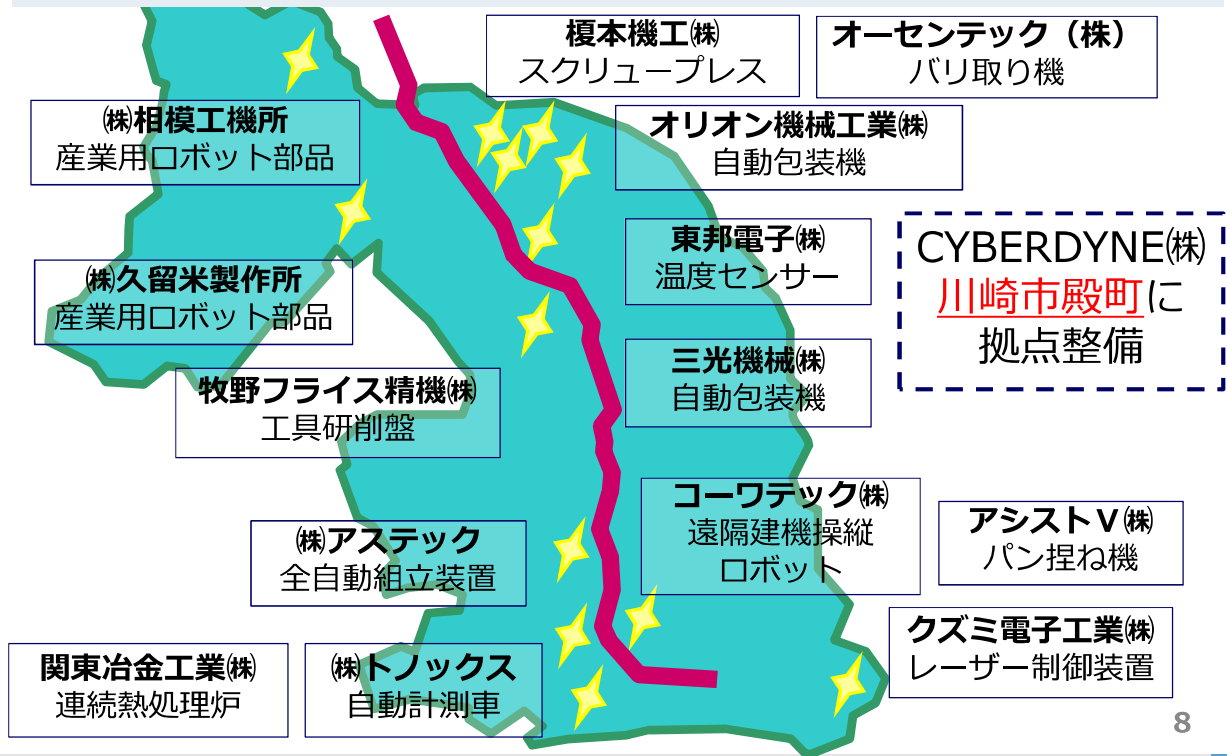
特区発生活支援ロボットの
導入を促進するための
導入支援補助制度

Kanagawa Prefectural Government

7

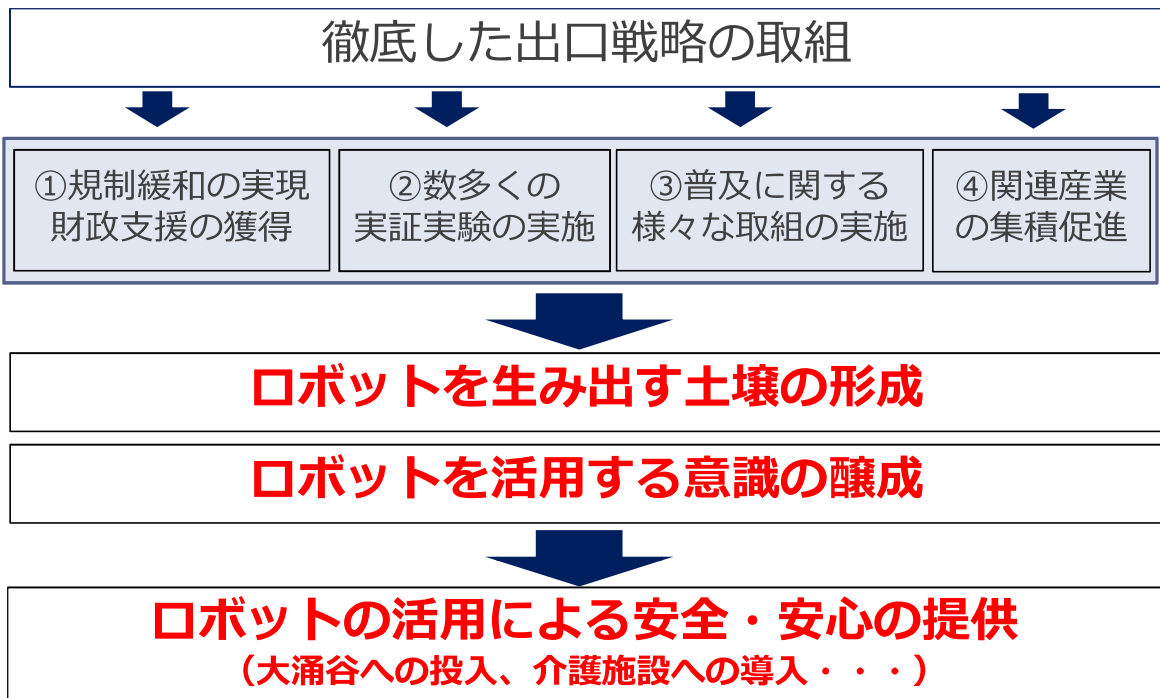
1-④ 関連産業の集積促進

インベスト神奈川2ndステップ・セレクト神奈川100による関連産業の集積件数：14件
(H29.8.29時点)



8

2 第1期における取組の成果



「さがみロボット産業特区」 第 2 期の計画について

H29.8.29

Kanagawa Prefectural Government

1

1 今後の課題（社会状況の変化）

■ 対応すべき新たな課題

第 1 期	第 2 期					それ以降					
～2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
	県の人口が減少へ	ラグビーW杯の開催	東京オリパラの開催					団塊世代が75歳に		リニア中央新幹線が開通	ROBOT TOWN SAGAMI 2028

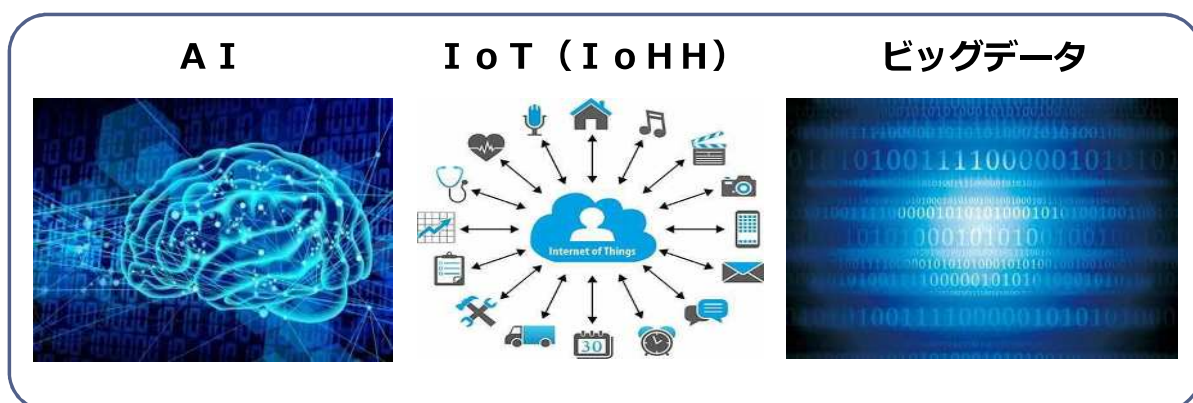
「ROBOT TOWN SAGAMI 2028」で描いた「ロボットと共生する社会」の実現を目指し、戦略的・段階的に取組を進める。

Kanagawa Prefectural Government

1

1 今後の課題（社会状況の変化）

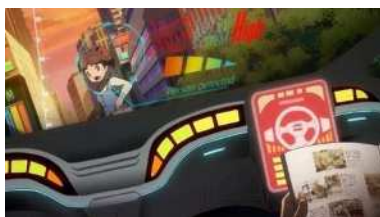
■ 最先端テクノロジーの爆発的進展



従来の「ロボット」技術と融合させていく

2 「ロボットと共生する社会」

「ROBOT TOWN SAGAMI 2028」で描いた「ロボットと共生する社会」



自動運転自動車



コミュニケーションロボット



案内ロボット



宅配ドローン



ロボットスーツ



遠隔診療システム

3 第2期の方向性

ロボットと共生する社会の実現に向けて

■ 対象分野の拡大

社会状況の変化と活躍が求められている場の広がり

■ 「見える化」の推進

特区の取組効果と参加メリットの実感

4 第2期の方向性（対象分野の拡大）

県民の「いのち」を輝かせる

<政策課題①> 少子高齢化の進行により増加するニーズへの対応

介護 医療 高齢者にやさしいまち

+

人口減少社会の到来を迎えての諸課題への対応

農林水産
(鳥獣対策含む)

庁内・建設

交通・流通

観光

<政策課題②> 切迫する自然災害への対応

大地震 豪雨 火山

+

オリパラ等の開催に向けた安心・安全の推進

犯罪・テロ
対 策

4-1 拡大する分野でのロボット活用例①

ニーズ

ロボットの例

農林水産
(鳥獣対策
含む)

- ・農林水産、鳥獣対策分野の担い手の高齢化・不足



鳥獣撃退ドローン



収穫ロボット

インフラ
・
建設

- ・既存インフラの大規模な更新時期の到来
- ・作業員の高齢化・不足



下水道点検ロボット



腰補助用マッスルスーツ

交通
・
流通

- ・運転手の不足
- ・買い物弱者の増加



自動運転による配送



高齢者宅への自動配送

4-2 拡大する分野でのロボット活用例②

ニーズ

ロボットの例

観光

- ・訪日外国人急増への対応
- ・高齢化による移動困難



案内ロボット



車椅子移動支援ロボット

犯罪・テロ
対 策

- ・ビッグイベント開催時の安全確保
- ・体感治安の悪化

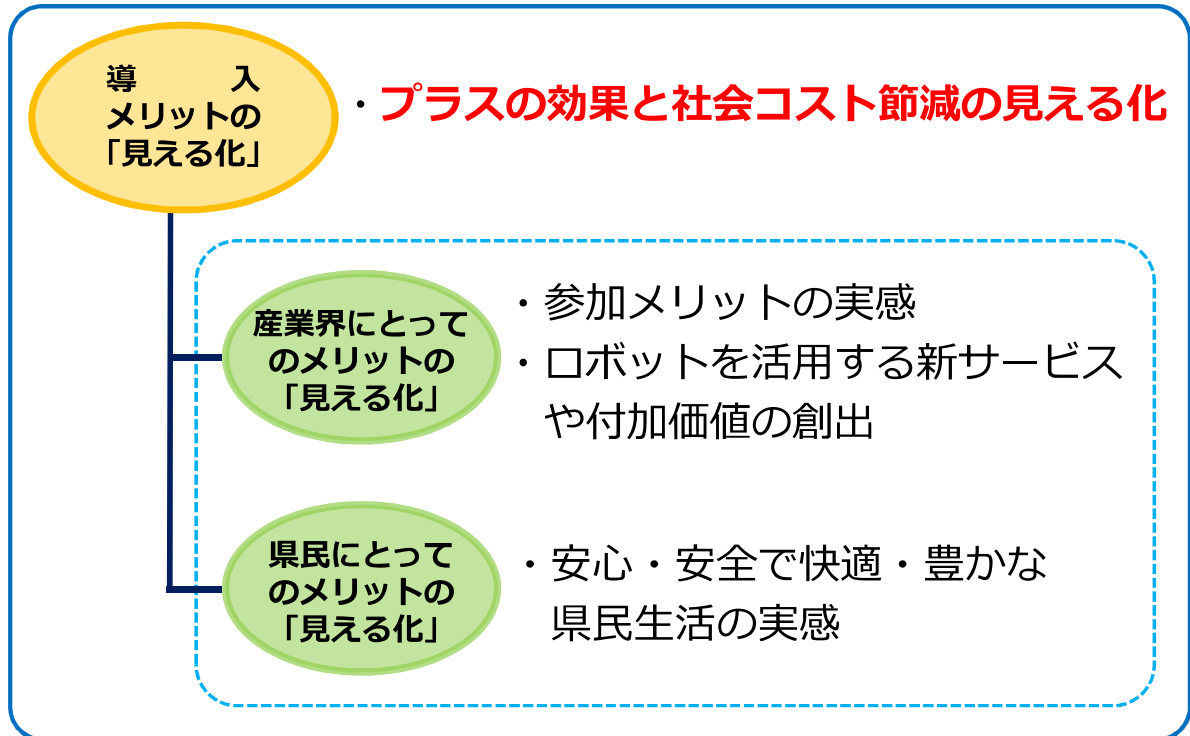


巡回警備ロボット

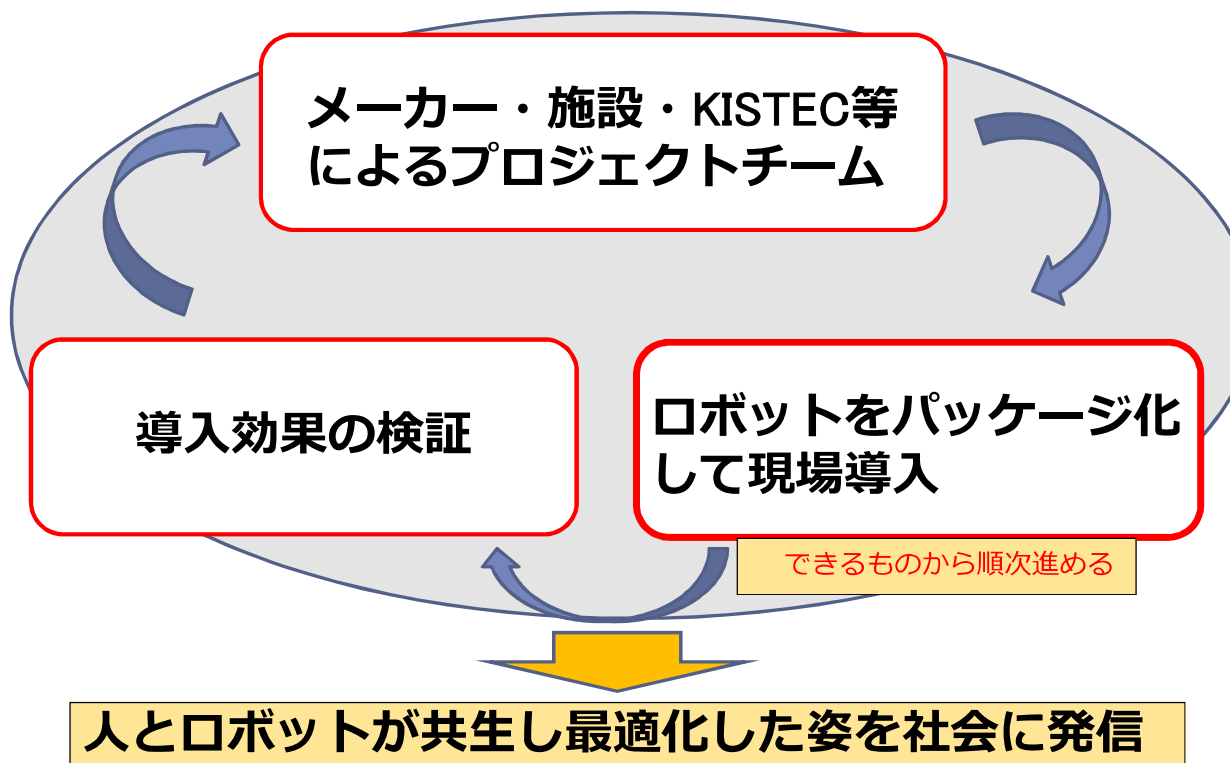


顔認証システム

5 第2期の方向性（「見える化」の推進）



5-1 導入メリットの「見える化」



5-2 産業界にとってのメリットの「見える化」の取組

県内企業が「さがみロボット産業特区」に参加しやすい仕組みの強化



・異分野との結びつけによる新しいサービスや価値の創出促進

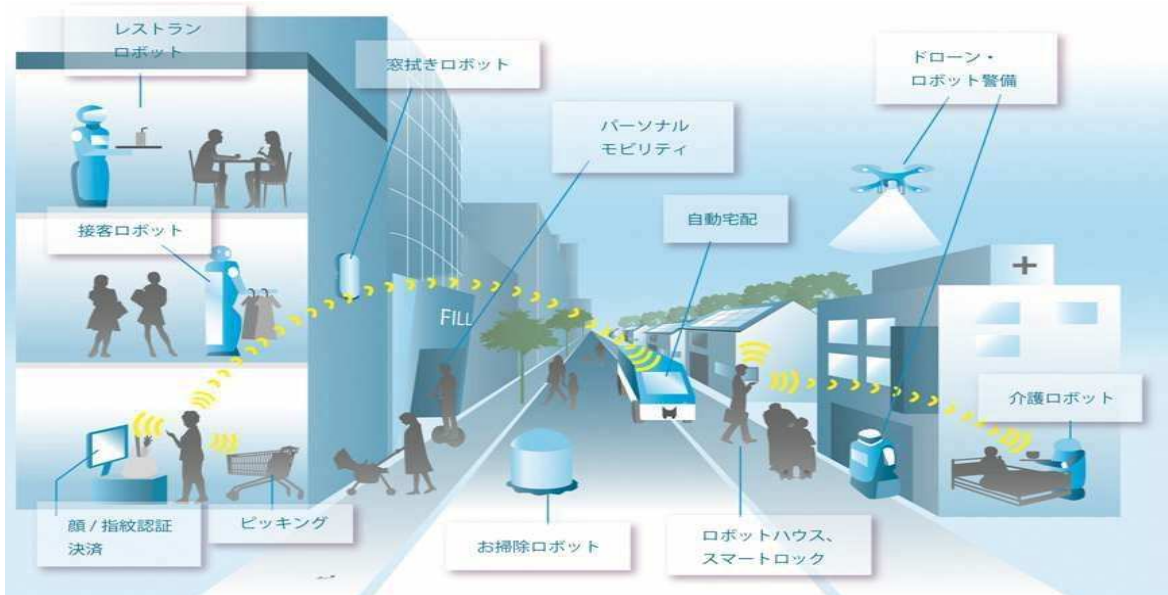
・受注や技術連携を促進するためのマッチング機会を拡充

(K I PやK I S T E C等との連携)

5-3 県民にとってのメリット「見える化」の取組例

街なか
(辻堂駅前)

街なかの商業施設、オフィス、公共空間等において、ロボットとの共生を体験できる「ショーケース」を整備



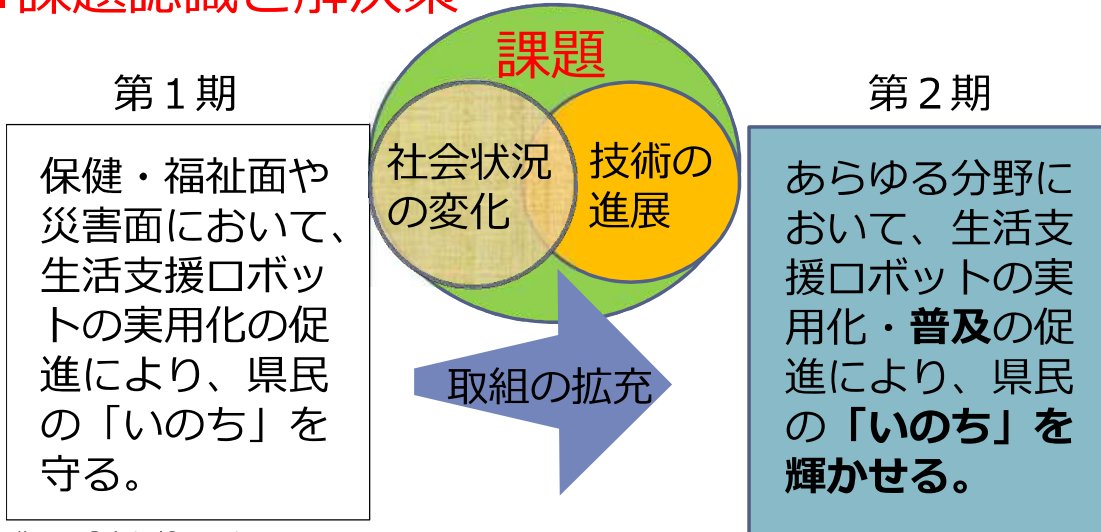
個々のロボットについても、随時導入を進め、発信していく

6 第2期計画の概要（H30～34年度）

■ 目標

生活支援ロボットの実用化・普及を通じた、地域の安全・安心の実現。

■ 課題認識と解決策



Kanagawa Prefectural Government

12

6 第2期計画の概要（H30～34年度）

■ 数値目標の考え方について

第1期より目標を高く設定するとともに、普及の目標を新たに設定

	第1期の目標 (実績：H29.8.29時点)		第2期の目標
生活支援ロボットの商品化件数	12件 (14件)	➡	+ 25件
実証実験等の実施件数	90件 (147件)	➡	+ 200件
ロボット関連企業の立地件数	35件 (14件)	➡	+ 35件
新 特区に参加する県内中小企業数			100社
新 生活支援ロボットの導入施設数			250箇所

Kanagawa Prefectural Government

13

重点プロジェクト一覧

	プロジェクト名	事業主体
1	手足のリハビリを支援するパワーアシストハンド・レッグ	(株)エルエーピー
2	「KINECT」を活用した介護支援システム	青山学院大学
3	人の行きたい方向を察知し先導するガイダンスロボット	日本精工(株)
4	マイクロ波を使った高齢者見守りシステム	(株)CQ-S ネット
5	見守り機能型服薬管理支援機器・システム開発	(株)日立製作所
6	介護施設における認知症患者を含む高齢者向けコミュニケーションロボット	富士ソフト(株)
7	がれきに埋もれた被災者を探索するロボット	(株)タウ技研
8	災害現場等で長時間活動する無人飛行ロボット等への無線給電システム	(公財) 相模原市産業振興財団
9	自動運転技術を装備した自動車	日産自動車(株)
10	遠隔操作による超音波診断ロボット	早稲田大学
11	心の健康計測システム	P S T(株)
12	患者見守りシステム	(株)タウ技研
13	居室設置型移動式水洗便器	T O T O(株)
14	腰への負担を人工筋肉で軽減するマッスルスーツ	(株)イノフィス
15	人工筋肉による遠隔建機操縦ロボット	ユーワテック(株)
16	人が近寄ることが困難な災害現場で活動するクローラ移動ロボット	(株)移動ロボット研究所
17	脊髄損傷者用歩行アシスト装置	(株)安川電機
18	赤外光センサーを使用した高齢者見守りシステム	(株)イデアクエスト
19	介護施設におけるコミュニケーションを活性化し認知症予防にも役立つロボット	(株)よしもとロボット研究所、(株)学研プラス
20	コミュニケーションロボットと連動した在宅見守りシステム	幸和製作所(株)
21	自動運転ロボット利活用サービス	(株)ディー・エヌ・エー
22	浴室設置型入浴支援ロボット	T O T O(株)
23	多くの日常生活動作を可能にする上肢筋電義手	横浜国立大学、東海大学医学部 附属病院
24	誤嚥性肺炎防止のための嚥下モニタリング・アシストシステム	カレイド(株)



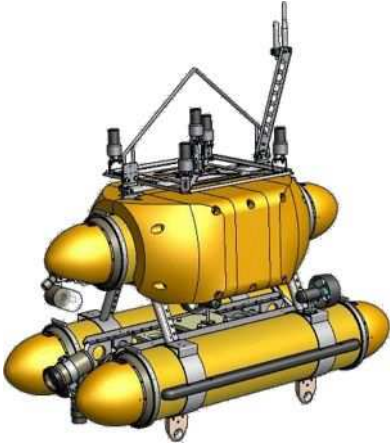
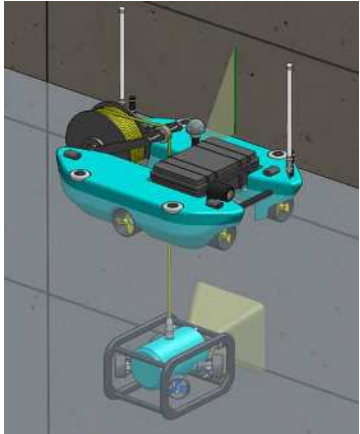
平成 29 年 7 月 14 日
記者発表資料

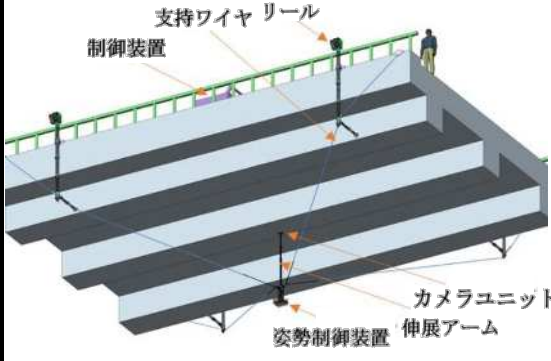
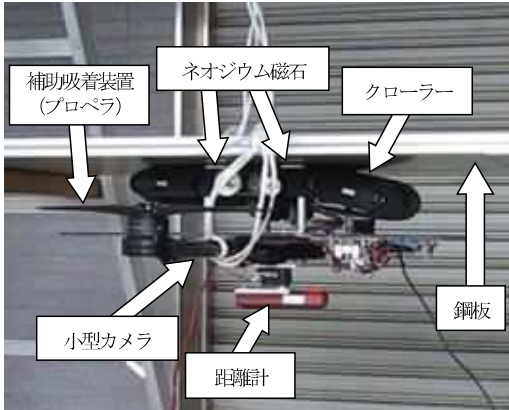
平成 29 年度「公募型『ロボット実証実験支援事業』」 採択案件を決定しました！！

神奈川県では、「さがみロボット産業特区」の取組の一つとして、生活支援ロボットの実証実験の企画を全国から募集し、採択した企画の実施を支援する「公募型『ロボット実証実験支援事業』」を推進しています。今年度は 23 件の応募があり、審査の結果、そのうち 11 件を採択しましたので、お知らせします。


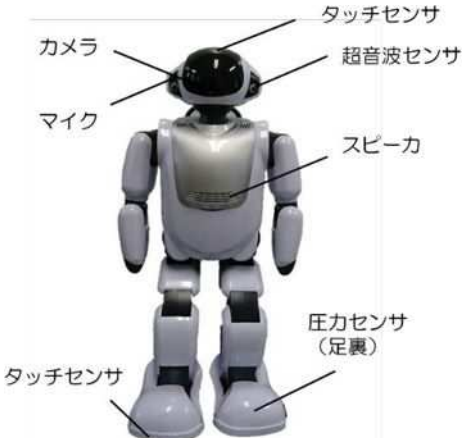
＜採択案件の概要＞

1. 災害対応

<p style="text-align: center;">海中ステーションにドッキング可能な 自律型海中ロボットシステム</p> 	<p style="text-align: center;">ダム調査用ロボットシステム</p>  <p style="font-size: small;">本システムは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の支援を受け、開発しているものです。</p>
<p>東京大学 生産技術研究所（東京都 目黒区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾設備の海中部分などをカメラ等でモニタリングする自律型海中ロボットと、その充電等を行う海中ステーションから構成。 ・ 海中ロボットの電池残量が減少すると、自動的に海中ステーションにドッキングし充電するため、無人で長期の運用が可能。 <p>港湾で、3日間程度連続で自動運用試験を実施する。動作確認をするとともに、流れや波、水の濁りなどによる影響を検証する。</p>	<p>株式会社キュー・アイ（神奈川県 横浜市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水中撮影を行う自航可能な水中ロボットと、それを水面から吊り下げ支援する水上ロボットから構成。 ・ ダム施設の堤体の水中部をカメラで撮影し、その劣化状態の点検に活用。 ・ 昨年度有効性を確認した壁面吸着機能を強化。 <p>ダムで、水中壁面の自動調査機能や、水上ロボットが壁面に吸着し停留する機能などについて実証を行い、その有効性を検証する。</p>

<p>ワイヤ吊り下げ型橋梁点検ロボットシステム</p>  <p>本システムは、内閣府総合科学技術・イノベーション会議のSIP インフラ維持管理・更新・マネジメント技術（管理人 NEDO）の支援を受け、「自在遊心街で支えられる橋梁点検ロボットシステムの研究開発」として行っているものです。</p>	<p>磁力等により吸着する橋梁調査ロボット</p>  <p>本ロボットは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の支援を受け、開発しているものです。</p>
<p>株式会社ハイボット（東京都 品川区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁上から設置回収可能な 4 本のワイヤで点検センサー搭載のロボットを吊りし、交通規制せずに橋梁全域を点検可能。 昨年度、課題が見つかった耐久性を改良。 <p>橋梁で、ロボットの設置・点検・撤収までの作業を行い、風などによる影響を確認するとともに、耐久性及び使い勝手を検証する。</p>	<p>株式会社移動ロボット研究所(神奈川県 鎌倉市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 底面に搭載した磁石で鋼橋桁部に吸着させクローラーにより移動するロボット。カメラにより床版のひび割れ等を調査可能。 磁力の弱まる段差移動時には、搭載したプロペラの揚力で補助し、落下を防止する。 <p>橋梁で、走行試験を実施し、吸着機能等の有効性を検証する。</p>



2. 高齢者等への生活支援

<p>高齢者に寄り添い、家族と繋がる 小型モバイルロボット</p> 	<p>健康維持のための体操支援ロボット</p> 
<p>シャープ株式会社（東京都 港区）</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション機能に優れ、スマホ機能を搭載した小型ロボット「ロボホン」に、一人暮らしの高齢者向けアプリを搭載。 「家族への連絡や外出を促すような話しかけを行う」「家族へ日々の状況を通知する」などの機能を持つアプリを搭載。 <p>高齢者の自宅で日常的に使用してもらい、ロボットとの対話時間、ロボットの促しによる外出頻度や、離れて暮らす家族とのコミュニケーション頻度への影響を検証する。</p>	<p>東京工芸大学 工学部（神奈川県 厚木市）</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション機能に優れたロボット「PALRO」に Kinect(キネクト)センサーを連携させることで、体操指導・評価を通じたコミュニケーションが可能。 プログラミングにより、会話のパターンを変更することが可能。 <p>介護施設などで、これまでに有効性を確認した各種会話パターンを組み合わせ、体操継続へのモチベーション向上にとどまらず、毎日が楽しくなるようなコミュニケーション手法を検証する。</p>

<p>衣服一体型歩行アシストロボティックウェア</p> 	
<p>信州大学 繊維学部 (長野県 上田市)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ズボンタイプの歩行アシストロボティックウェア。 ・各関節の動きを検知し、動作を支援する。 ・外骨格がないため、軽量で、拘束感なく柔軟に様々な動作を支援可能。 ・階段歩行にも対応可能。 	
<p>高齢者の方を対象に、山道の不規則な階段の上り下りに使ってもらい、支援効果や使い勝手について検証する。</p>	

3. 介護・医療

<p>健康管理・健康啓発アプリ連動 ロボットシステム</p> 	<p>Mixed Realityを活用した調剤薬局支援システム</p> 
<p>株式会社シャンティ (東京都 目黒区)</p>	<p>株式会社シャンティ (東京都 目黒区)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットとタブレットが連携し、体操への誘導及び体操指導を行う。 ・日常的なコミュニケーションの中で体操を促すとともに、体操の実施状況により会話内容を変更。 ・体操の実施状況を、クラウドで記録可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコード等の画像(環境)認識及び情報表示機能を搭載したホロレンズと、非接触センサーが連携したシステム。 ・処方箋のQRコードを読み取り、保管されている棚を表示。センサーは、開閉した棚の正誤判断などに活用可能。
<p>高齢者個人宅で利用してもらい、体操継続への有効性について、テレビ電話などいくつかの方法と比較検証する。</p>	<p>薬局で、調剤作業に使用し、作業時間の計測や調剤ミスの有無を確認し、その有効性や使い勝手を検証する。</p>

<p>認知症高齢者向け コミュニケーションロボット</p>  <p>インターネットを介した操作</p>	<p>握力を補助するウェアラブルロボット</p>  <p>(写真は改良前のものです)</p>
<p>株式会社テレノイド計画 (京都府 相楽郡)</p>	<p>株式会社エスケーエレクトロニクス (京都府 京都市)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性にも女性にも、子供にも大人にも見える、認知症の方が受け入れやすいデザインのコミュニケーションロボット。 ・ マイク・スピーカー・カメラ等の搭載により、遠隔地よりネットを介したコミュニケーションが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローブ型のロボットで、対象を握ると、親・中・薬指の腹についた圧力センサーが感知し、握った力に比例して握りを支援。 ・ バッテリーを搭載しており、握力の弱くなった方の日常生活をサポート。 ・ 昨年度の実証実験の結果を踏まえ、センサー位置、ワイヤ位置などを改良。
<p>介護施設などで、ケアの品質向上に必要な自分史などの情報について、本ロボットを介したコミュニケーションによる情報収集の有効性を検証する。</p>	<p>リハビリ施設で、訓練や日常生活に利用してもらい、支援効果と使い勝手について検証する。</p>

問合せ先

神奈川県産業労働局産業部産業振興課

課長 山崎 電話 045-210-5630(直通)
技術開発グループ 加藤 電話 045-210-5640(直通)

平成 29 年 7 月 28 日
記者発表資料



「ロボット実用化促進補助金」採択案件を決定しました！！

神奈川県では、「さがみロボット産業特区」の取組の一環として、「ロボット実用化促進事業」により、ロボットの早期実用化を図るとともに、企業のロボット関連産業への参入支援を行っています。このたび、様々な分野において、高いニーズを持つロボットの開発プロジェクトを募集し、審査の結果、採択案件を決定しましたので、お知らせします。

【採択案件の概要】

○ 採択件数:4分野 8プロジェクト(五十音順)

(1)「介護・医療」分野(3件)

事業者名 (※幹事法人のみ記載)	プロジェクト名
株式会社デンサン	パワーアシストリスト「リリスト」(仮称)の開発
日信ソフトエンジニアリング株式会社※	行動パターン蓄積・分析による予測機能付き見守りシステムの開発
株式会社ReTech	企業の健康経営等に役立つ姿勢測定器と運動の連携ロボットの開発

(2)「高齢者等への生活支援」分野(3件)

株式会社エナ・ストーン	家庭向け見守りロボットの開発
シャロン株式会社	目的地まで自動運転するシニアカーの開発
神峯電子株式会社	介護医療にも利用可能なイビキ対策&安眠ロボットの開発

(3)「災害対応」分野(1件)

株式会社移動ロボット研究所	災害現場で情報収集を行うロボット市販モデルの改良
---------------	--------------------------

(4)「その他、県民の『いのち』を守ることに資するロボット」分野(1件)

株式会社イクシスリサーチ	テロリスト/誘拐犯等の立てこもり事件等での現場情報収集ロボットの開発
--------------	------------------------------------

※詳細は別紙一覧のとおり

問合せ先

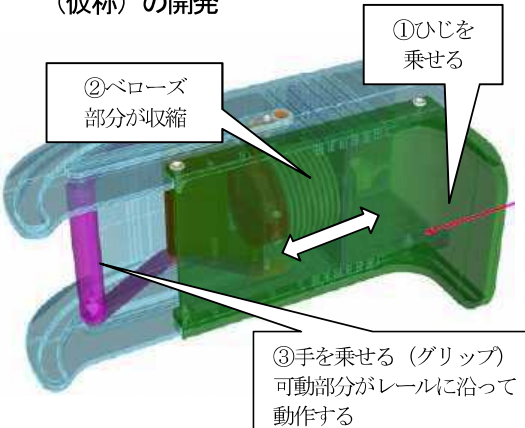
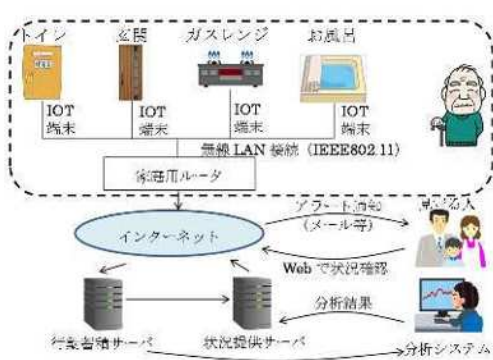
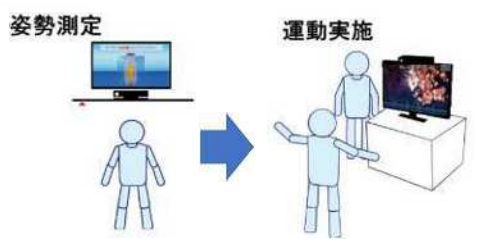
神奈川県産業労働局産業部産業振興課

課長 山崎 電話 045-210-5630(直通)

技術開発グループ 加藤 電話 045-210-5640(直通)

<採択案件一覧> (企業名は幹事法人を記載・五十音順)

1. 「介護・医療」分野

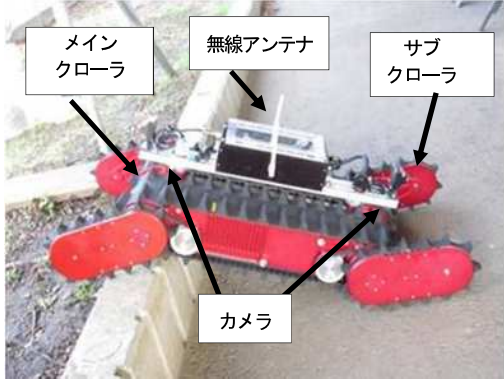
<p>パワーアシストリスト「リリースト」 (仮称)の開発</p> 	<p>行動パターン蓄積・分析による 予測機能付き見守りシステムの開発</p> 
<p>株式会社デンサン (横浜市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中発症後の手首部分拘縮予防のための、リハビリテーション機器を開発する。 ・真空ポンプにより空気を吸入・排出することでベローズ部分を伸縮させ、手首を他動的に動作させる。 	<p>日信ソフトエンジニアリング株式会社 (相模原市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者の行動パターンを見守り、日常の行動パターンを蓄積・分析する。 ・蓄積したデータから、認知症等異常事態の「予測」を行い、遠隔地にいる家族の携帯端末などに通知する。
<p>企業の健康経営等に役立つ姿勢測定器と運動の連携ロボットの開発</p>  <p>姿勢測定 → 運動実施</p> <p>センサーの正面に立って「ケアピット」で姿勢を測定</p> <p>測定した結果を基に「TANO」で運動を実施</p>	
<p>株式会社ReTech (平塚市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢測定器「ケアピット」とリハビリテーショントレーニングツール「TANO」の連携システムを開発する。 ・姿勢の測定結果をもとに、その改善に適したトレーニングを提供可能。 	

2. 「高齢者等への生活支援」分野

<p style="text-align: center;">家庭向け見守りロボットの開発</p>  <p>あついな 冷房を入れます</p> <p>計測温度 40°C ↓ エアコン自動起動</p> <p>会話による操作</p> <p>AIなどによる自動制御</p> <p>クックセンサー</p> <p>体重計</p> <p>一般照明</p> <p>住宅用太陽光発電</p> <p>温水器</p> <p>蓄電池</p> <p>電気自動車充電器</p> <p>瞬間式給湯器</p>	<p style="text-align: center;">目的地まで自動運転するシニアカーの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活者(高齢者)の外出促進や利便性の向上 高齢ドライバー-事故防止 高齢者の迷子対策  <p>みちびき衛星</p> <p>カメラ画像</p> <p>3次元レーザ点群</p> <p>シニアカー</p>
<p>株式会社エナ・ストーン (横浜市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者が意識することなく生活できる見守りロボットを開発する。 家庭向けコミュニケーションロボットにスマートハウスに関する制御機能を実装する。 	<p>シャロン株式会社 (厚木市)</p> <ul style="list-style-type: none"> モービルマッピングシステム実測量による緯度/経度等の情報をもとに、GPSセンサーで制御することで、目的地まで自動運転するシニアカーを開発する。 レーザーで障害物との距離を測定し、衝突回避をする。
<p style="text-align: center;">介護医療にも利用可能なイビキ対策 & 安眠ロボットの開発</p>  <p>アプリ</p> <p>枕の機能 ①~④エアバッグ調整 睡眠効率改善 及びイビキ低減</p> <p>コントロール</p> <p>リモコン (簡単に操作可能)</p> <p>内蔵センサー</p>	
<p>しんぼう 神峯電子株式会社 (藤沢市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用者の状態により枕の形を変形させる安眠ロボットを開発する。 センサーで個人の睡眠状態を検出して、内蔵のエアバッグを制御する。 	

3. 「災害対応」分野

災害現場で情報収集を行うロボット
市販モデルの改良



株式会社移動ロボット研究所 (鎌倉市)

平成 28 年度「神奈川版オープンイノベーション
開発促進事業」において、開発・商品化した災害
対応ロボット「アルバトロス」を、藤沢市消防局
による実用化訓練の結果を踏まえ、改良を行う。

4. 「その他、県民の『いのち』を守ることに資するロボット」分野

テロリスト/誘拐犯等の立てこもり事
件等での現場情報収集ロボットの開
発



株式会社イクスリサーチ (川崎市)

- ・テロリストや誘拐犯等の立てこもり事件現場
で安全に情報収集できるロボットの開発を
行う。
- ・神奈川県警察からのニーズをもとに開発す
る。